

# 国際政治

214

## 地球環境ガバナンス研究の最先端

日本国際政治学会編

序論 地球環境ガバナンス研究の最先端	阪口 功
ドイツのエネルギーガバナンス（一九八三年―二〇二一年）	渡邊 理 絵
グローバルな気候変動ガバナンスの「共律化」	近藤 悠 生 山田 高 敬
パリ協定に貢献する鉱物資源及び 金融・投資分野のガバナンスの現状と課題	太田 宏 佐藤 勉
気候変動危機によって高まる電力安全保障の重要性	山本 剛
農業・食料分野における地球環境保全規範の受容要因	米田 立子
プライベート標準とパブリック環境ガバナンスの共進化	渡邊 智明
ビッグサイエンスと地球環境保護	王 智健
<hr/>	
勢力範囲（勢力圏）概念と近代日本外交	佐々木 雄一
日中国交正常化における中国の政策過程	兪 敏浩
<hr/>	
<書評論文>	
防衛政策史研究の最先端	吉田 真吾
敗戦国の経済的包摂／参加をめぐるディレンマ	前田 亮介
<hr/>	
<書評>	
アマタフ・アチャリア著 『ASEANと地域秩序』	湯川 拓
クラウス・ドッズ著、町田敦夫訳 『新しい国境 新しい地政学』	岩下 明裕
渡部恒雄、西田一平太編 『防衛外交とは何か』	畠山 京子

2025年1月刊